

令和4年第6回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	1 観光戦略プランを早急に作成すべき (1) 市の観光戦略について ① 予算獲得について、従来との違いは ② さどまる倶楽部等、データ分析による打ち手の実施状況 ③ 戦略面において、部制により見えてきた効果は ④ 外部人材登用により期待できることは (2) 観光戦略プラン（観光計画）について ① 市が目指す観光ビジョンは ② コロナ後の観光入込み客数の目標は ③ ビジョン及び目標を達成するための「戦略・施策・事業」として考えていることは ④ 観光戦略プラン作成に対する市長の考えは ⑤ 今後の取組目標は (3) 佐渡観光交流機構（DMO）について ① 事業報告及び事業計画について、情報発信の現状は ② 事業方針説明会の開催について 2 佐渡汽船、経営改革の動向とその行方 (1) 中古カーフェリー「えひめ」は本当に大丈夫か ① 冬期間の新潟一両津航路の運行に耐えられるのか ② ドック入りの時期をずらす必要があるのではないか ③ 船員数の確保は ④ 岸壁改修費用は ⑤ バスダイヤ改正は (2) 自治体の責務はいかなるものか ① 県の責務について ② 市の責務について ア 誘客促進は イ バンカーサーチャージ（燃料高騰による運賃値上げ）に対する島民支援は ウ 株主としての責務は エ 経営の情報公開は (3) これまでの経営改善策はどうなったのか ① 役員報酬等人件費の削減は ② 1等運賃値上げ、割引見直しの効果は ③ ときわ丸運賃還元の一時休止について、再開時期は (4) どうなる老朽化船舶のリプレイス ① おけさ丸の更新は ② 日海丸の更新は ③ 資金調達は企業の自助努力によるものが基本原則ではないのか 3 庁舎建設について (1) 工事の進捗状況は (2) 物価高騰の影響は 4 空き家対策について (1) 「廃ホテル等の大型空き建築物」の取扱いは (2) パークPFIについて (3) 国の空き家再生等推進事業の活用を検討せよ (4) 加賀市「空き家“リノベ”ぐらんぷり」に学べ	後藤 勇典

順	質 問 事 項	質 問 者
2	1 学校教育について (1) スクールバスについて ① スクールバスの運行距離や乗車時間による児童・生徒の疲労について、令和4年6月定例会で質問した際に、所管課長がスクールバスに同乗し、子どもたちの声を現場で実際に聞いてくるような前向きな答弁があったが、その後実際に乗車したか ② 乗車して見つかった課題は何か、その課題に対してどのように対応していくのか (2) 防災教育について ① 佐渡市の小・中学校では着衣泳や水辺の事故に対する緊急時について、教育をしている学校と、教育をしていない学校があるが、それぞれ何校か ② 佐渡市の子どもへの防災教育として、全ての児童・生徒に対し、小・中学校を通じて9年間のプログラムを実施すべきと考えるが、どうか (3) 教職員の部活動大会等について ① 児童・生徒が島外の大会や遠征等に行く際、教職員が宿泊費等を立替払いする場面があると伺った。教職員の負担が大きいのので、後日教育委員会が支払う仕組みにできないか ② 児童・生徒が島外大会や遠征等に参加する際の宿泊費の負担基準はどうなっているか ③ 児童・生徒の居住地によっては朝一番のカーフェリーやジェットfoilに乗ることで身体的な負担が大きく、ベストパフォーマンスを出せない状況がある。宿泊費負担の基準を見直せないか 2 市民の勉強場所の確保について (1) 7月から8月にかけて試行的に両津図書館の開館時間の延長を実施したが、状況はどうだったか (2) その結果を踏まえて、今後はどのように図書館改革を行っていくのか 3 公園整備について (1) 今年は公園整備の時期が遅く、市民が利用したくても、公園が安全に利用できないとの声があった。公園整備計画はどのように計画されていて、なぜ遅れたのか (2) 市民が安心して利用できるように、今後は公園整備計画をどのようにしていくか	平田和太龍
3	1 人口減少・少子高齢化に歯止めをかける佐渡市の政策について問う 人口減少対策において、子育て世代への施策のほか、特に女性への対策に集中することが効果的との報告もある。若い女性が都市部へ流出する傾向は強く、簡単に引き留めることはできない。 しかし、高校卒業後、佐渡にそのまま定着する女性やU I ターン者から、地域活性化の一役を担ってもらうために、雇用や子育てなど多面的にアプローチし、佐渡の魅力を引き上げることが重要であり、以下の施策について質問する (1) 子育て世代の働き方と環境づくりについて ① 子育て中でも仕事を通じた社会との繋がりは大変である。佐渡市や各企業の業務委託をワークシェアリングする「新しい仕事の形」をつくり出して社会参加を促してはどうか 子育て中の働き方は、従来型の雇用形態では働き手、雇用者の要求を満たしていないことが多く、子育て中の短時間労働には適していない。子育て世代をはじめ企業には属さない新たな雇用形態を構築してはどうか。具体的な取組事例として、岡山県奈義町での「しごとコンビニ」によるまちづくりが注目されている。佐渡市として検討すべきではないか ② 子育てする上での困り事や相談などの多様なニーズに応じたサービスを佐渡市の「トキの島ファミリー・サポート・センター」の拡充で、地域全体で支えられないか ③ 保護者が共働き家庭の場合、就労継続のためには、放課後児童クラブで安全に預かっていただくことが前提となる。しかし、待機児童が発生している状況では安心して就労できない。6月定例会以降改善できたか	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
3	(2) 女性の地位向上による女性活躍社会 ① 女性起業家の創業や事業拡大を支援することにより、女性の地位向上と新たな仕事づくりを目指した取組はできないか ② 仕事と家庭の両立支援を推進する企業を市で認定し、基準を満たした事業所に両立支援の取組を補助し、男女共同参画を進めることはできないか (3) 海士町で実施している地域おこし協力隊制度を利用した「大人の島留学」による移住・交流人口の増加はできないか 2 水田フル活用による佐渡市農業の転換について 佐渡市の農業算出額の68%を占める稲作は、米価下落や肥料費をはじめとする生産資材等の高騰を受け、稲作の景況感は悪化している。政府の進める需給調整機能も生産者任せの様相を呈し、少子高齢化や食生活の変化による米の消費はますます減少していくことが予想される。今後もこのような基調が変わらないとすれば、佐渡市農業の構造改革をすべきと考えるが、市の考え方を問う (1) 後継者定着には所得率の低い稲作経営から、高所得が期待される畑作、果樹等への転換が課題だが、どのように進めるか (2) 水田のフル活用で畜産粗飼料の生産による島内自給を進め、畜産振興により後継者の呼び込みを図れないか (3) 予定されている基盤整備地区での稲作以外の品目は何か。また、生産方法は個人か組織か (4) 中山間地域での高齢化などによる耕作放棄地の進行が懸念されるが、耕作継続に向けた施策は (5) 肥料費高騰に対応し、下水道汚泥や食物残渣の有効活用はどのように取り組むか (6) 農業経営基盤強化促進法等の一部改正による「地域計画」について、令和6年度末までに作成されるが、どのように取り組むのか 3 佐渡ふるさと島づくり寄付金の活用について問う 「佐渡ふるさと島づくり寄付金」は、ふるさと佐渡を応援したい、貢献したいと考える方々から、ふるさとの活性化への思いを寄付金という形で、参加・協力・応援していただく趣旨であり、その観点から質問する (1) 返礼品返礼率が過去3年間で20%台の理由について (2) 佐渡ふるさと島づくり寄付金利用者の目的等の分析や、その後のつながりはどのようにしているか (3) 佐渡ふるさと島づくり寄付金の受付は現在、ふるさと納税ポータルサイトや郵送またはファックスでの申込みとなっているが、他市でも取り組んでいる直営サイトの開設は検討しているか (4) ふるさと納税が返礼品偏重の様相を呈しているが、本来の目的であるふるさと活性化に向けて寄付の使い道を考える必要がある。現在の区分では寄付時に指定できる使い道はほとんどが大きくりの単位であり、実質的には何にでも使える都合のいい財源となっているのではないかと。また、使い道の範囲が大きいと寄付者の意識も弱くなる。他市では、市民などから提案を募る制度により、使い道を明確に意思表示している例もあり、佐渡市として具体的な使い道を示し地域活性化などに活用してはどうか	佐 藤 定
4	1 新型コロナウイルス感染症について (1) 現在の佐渡市の状況について (2) 今後の市の方針、経済対策についてどのように考えているか (3) 各制度の周知などはできているか 2 有人国境離島法における運賃割引について 3 パートナースhip宣誓制度の導入について 4 オーバーツーリズムによるゴミ問題について 5 入島税の導入について 6 レジごみ袋の導入について	北 啓

順	質 問 事 項	質 問 者
5	1 東京電力柏崎刈羽原発の再稼働方針について (1) 岸田文雄首相は来年夏以降、再稼働を進める意向を表明した。しかし、地元自治体の同意が得られていない。侵入者を検知する設備の故障などの問題が判明し、原子力規制委員会が事実上の運転禁止命令を出している。福島第一原発事故への反省もなく、不祥事が後を絶たない東京電力に対して原発に携わる資格そのものを問う声が上がっている ① 以下5点について、原発の運転や再稼働することに対する問題は解決したのか。 岸田文雄首相の再稼働を進める方針を含め市長の見解を求める ア 原発事故時の避難計画（佐渡市含め） イ 万全な地震や津波対策 ウ 核廃棄物の処理方法の確立 エ 不祥事を続ける東京電力の信頼回復 オ 新潟県の3つの検証（佐渡市含め） ② 岸田文雄首相の柏崎刈羽原発再稼働方針に対して、国・政府に対し、佐渡市長として進言などすべきと考えるが、見解を求める (2) 省エネルギーと再生可能エネルギーの取組状況と今後の方向性について問う 2 肥料原料価格の高騰対策について 肥料の価格上昇分7割を補填することについて、農林水産省が検討している。佐渡市は秋や春に使う肥料への影響に対応できるようにすべきではないか 3 「快適な生活応援事業補助金」と「住宅リフォーム支援事業補助金」について 新型コロナ第7波から市民の命と暮らしを守るために実施すべきではないか 4 社会保障は地域経済の循環を作り出すもの。新たな社会をつくる基礎となる 「社会保障は、経済成長と社会の安定に寄与し、雇用を創出する」と厚生労働白書に明記されている。市長はそのような認識はあるのか 5 離島留学受入れ（学校再編統廃合計画）と人口減対策・移住定住について (1) 状況と今後の方向性について (2) 過疎化による人口減が学校再編統廃合計画を引き起こし、さらに地域の産業、とりわけ農業を衰退させる負のスパイラルを招いているのではないかと指摘について、見解を求める (3) 佐渡の移住定住に最も力を入れるべきことの認識について 6 学校給食費の無償化について (1) 県内初で弥彦村が実施したが、内容、状況と佐渡市の認識と今後の対応について (2) 学校給食を無償化し、子育て世帯を応援してはどうか	中村良夫
6	1 農業政策について (1) SADOSANオーガニックの実現に向けた取組について ① 方向性と具体的な事業展開について ② 事業展開に当たっての課題をどのように捉えているか ③ 他課（子ども若者課、教育委員会、産業振興課）や企業との連携について (2) 米価下落の中での収益減の対策として園芸作物の導入が推進されているが、専業農家が少なく、高齢化が進み人手不足という佐渡市の現状を考えると、米粉用米の生産拡大に取り組むことも必要ではないか。市長の見解を問う (3) 新潟県は、にいがた発「R10プロジェクト」運動を2008年から提唱している。日本一の米どころ新潟県は、米加工業が盛んであり、開発技術によりいろいろな食品ができるようになってきている。米粉の活用法も広がり、「小麦の代わりはもう古い」、「米粉だからおいしい」の時代に入ってきているが、佐渡市は米粉の普及・利用拡大に向けた取組をどのように考えているのか。市長の見解を問う 2 佐渡市総合計画の施策1－8都市計画の推進について (1) 関連計画等として都市計画マスタープランがあるが、このマスタープランの見直しはされているのか (2) 金井市街地の整備の充実についての進捗状況と今後の計画を問う	上杉育子

順	質 問 事 項	質 問 者
7	1 医療と福祉体制の充実に向けて (1) 医師不足への対応策 ① 地域枠医学部奨学生について ② 臨床研修医の募集と研修後の動向について (2) 地域医療の振興について ① 離島最先端の遠隔医療、医療DXに挑戦するべきでないか ② 医療技術者奨学資金と地域医療基金及び診療所補助事業について (3) 精神医療の移転と佐渡総合病院周辺整備について (4) 歌代の里の民営化に向けた手順と従事者の確保について (5) 市内福祉施設でのコロナ感染者対応と施設運営について 2 佐渡航路の安定運航に向けて (1) 将来展望に基づいた船舶リプレイス計画はあるのか (2) 10年後の輸送量を推測した経営とは	金 田 淳 一
8	1 デジタル社会の実現に向けて (1) マイナンバーカード交付率によって地方交付税の配分額に格差をつけるという方針が出されている。交付率を上げるための取組は (2) だっちゃコインのマーケティングデータの活用、タクシーのクラウド型配車システムの導入を目的とした佐渡スマートアイランド推進実証調査の結果はどうだったのか (3) 来年度末に向けて佐渡市デジタル化構想・計画の策定を予定しているが、渡辺市長はデジタルを活用した佐渡の未来をどのように描き、佐渡のどのような課題を解決しようとしているのか 2 雇用増と人材確保、若者増の取組について (1) 昨年度の佐渡ビジネスコンテストでは、課題解決型ビジネスモデル部門の応募が少なかった。今年度のビジネスコンテストで応募を増やすために何を取り組んでいるのか (2) 日本でも様々な働き方が増えつつある中で、サテライトオフィス、シェアオフィス、コワーキングスペース、ワーケーション等、佐渡でも様々な勤務形態に対応できる環境が整いつつあるが、それぞれの課題は何か (3) 雇用機会拡充事業を活用した雇用数は増えているが、付加価値の高い雇用や島民・女性の採用など、雇用の質についての課題は何か。また、UIターン者をより増やすにはどのような施策が必要だと考えているのか (4) 渡辺市長の公約に「子どもの頃から佐渡の良さを理解する教育」とある。佐渡の中学生、通信制を含む高校生に佐渡の良さを理解し、佐渡を想う気持ちを持ってもらうことが佐渡で豊かに生活できる若い方を増やす一番のポイントと考えるが、その中高生や若い方に対し、どのような施策を行なっているのか 3 佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて (1) なぜ推薦書を再提出することとなったのか、詳しい経緯の説明を求める (2) 世界遺産登録には佐渡市民はもちろん、新潟県民の佐渡金銀山に対する気運醸成は必須である。佐渡市と新潟県でどのような取組を行なっているのか (3) 昨年末からの様々な報道によって、全国から佐渡金銀山への注目が集まり、ふるさと納税の世界遺産登録応援コースへの寄付も急増している。全国で応援していただいている方をより大きな輪にするための施策は 4 小木ー直江津航路のカーフェリー導入について 多くの雇用を抱える製造業の物流を考えると、この冬までに3隻目のカーフェリー導入が必須であるが、購入を検討しているカーフェリー「えひめ」の船体の揺れが懸念されている。あいびずやあかねと同じ轍を踏まないようにするには何が必要なのか	広 瀬 大 海
9	1 脱炭素先行地域として今後の進め方を尋ねる (1) 「脱炭素先行地域」に選定された佐渡市の脱炭素の目標地点はどこなのか ① 2030年までの計画では10%の削減になると聞いたが、その後の計画はどうなっているか	中 川 健 二

順	質 問 事 項	質 問 者
9	佐渡市はゼロカーボンアイランドをうたっていて、またSDGsの考え方からしても2050年にはCO₂排出量が実質ゼロにならないといけないのではないか。それは何トンになるか (2) EVの普及はどの程度を目指しているのか ① EVを2030年までに家庭で7,600台、貨物と公用車で4,700台と令和3年12月定例会一般質問で聞いたが、どのような計画で増やすのか ② 当初予算でEV購入補助金として200万円を計上しているが、何台のEVの普及を計画しているか ③ EV普及のためには充電設備の充実が不可欠だが、今後充電設備をどのように増やしていくのか (3) 脱炭素先行地域でのソーラーパネルの設置は遊休地や公共施設等に限られるようだが、市民にも協力してもらうことは考えないのか ① 現在佐渡全体の発電の6%が再生可能エネルギーで残りの94%が化石燃料の石油で発電しているようだが、このときの発電のためのCO₂は、総排出量の何%でおおよそ何トンになるのか ② 今年度当初予算の太陽光発電設備補助金800万円をすべて交付した場合、おおよそ何キロワットの再生可能エネルギーをつくることができ、CO₂は何トン削減できることになるか (4) 木質バイオマス発電が計画にあるが、この原料の木材供給は可能か ① 令和4年3月定例会での農林水産課長の答弁では、熱利用のペレットでさえ採算ベースまでの木材供給が難しいとの答弁があった。発電となれば昼夜休まず稼働させられるだけの原木の供給は可能なのか ② 発電はソーラーに任せて木質バイオマスは熱利用にとどめるべきではないか 2 小木ー直江津航路カーフェリー導入について (1) 佐渡汽船は小木ー直江津航路に来年度から中古カーフェリー「えひめ」の導入を検討していると聞いたが、存続できるめどは立っているのか ① 「あかね」の売却はランニングコストが膨らんだ結果の赤字が理由だったが、「えひめ」にした場合の収支のめどは立っているか ② 最近の佐渡汽船の変化は肌で感じているところだが、中古でもカーフェリーを導入することには敬意を表す。過去の状況から不安も残るのであえて聞くが、今後の誘客計画など新たな収入確保計画を尋ねる (2) カーフェリーの運航時間で小木始発を望んでいる佐渡市民が多いと思われるが、佐渡汽船へ要請をすべきではないか ① 以前の市長答弁で小木始発は船員の宿泊等で経費がかさむことが理由で、できないとの答弁だった。市から何らかの補助を見込むのであれば、市民の利便性に配慮を求めてもよいのではないか ② 直江津始発にしなければならない理由は何なのか 3 人権について (1) 7月に開催された人権展について尋ねる ① 現在までの人権展開催の場所及び来場者の推移を尋ねる ② 人権は言葉で説明しても非常に分かりづらいので、文字や写真等で表現した人権展は有意義なことで、子供達や一般の人の目に触れる機会をつくっているのは素晴らしいことだと思う。しかし、参加者が少なくはせっかくの苦労が報われない。周知の方法に何か工夫はされたか ③ 佐渡市は同和問題の「寝た子を起こすな」論を理解して人権問題に取り組んでいるか (2) インターネットの普及によって差別が拡散されているが、この対策を佐渡市はどのようにしていくのか 4 物価高騰における家計負担の軽減対策 このところの物価高騰対策として、冬に向かう前の暖房燃料購入費を補助する自治体の新聞報道があったが、佐渡市は暖房燃料の高騰対策を考えているか	中 川 健 二

順	質 問 事 項	質 問 者
10	1 国葬、旧統一教会問題についての市長見解 (1) 民主主義に関わる重要な政治の在り方の国葬についての市長見解 (2) 佐渡市として弔意を表すのか (3) 学校等の教育現場で弔意を表すのか (4) 旧統一教会関連団体からの佐渡市への寄付等の件数及び金額、市や教育委員会が後援した催し物数は、どのくらいあるのか。また、要請など働きかけを受けたことの有無 2 佐渡航路について (1) 佐渡汽船 ① 3隻体制につながるカーフェリー「えひめ」の導入は、「あかね」等のような失敗につながらないか。民間企業による導入であるが、佐渡市として十分な検証等は行ったのか ② 県、上越市、佐渡市は、「えひめ」購入への支援を決めたようだが、事業者と自治体の負担割合はどうなっているか ③ 民間会社における課題となったが、従来からの新潟一両津航路のカーフェリー更新、ジェットフォイル更新、貨物船（日海丸）の更新はどうなるのか (2) 佐渡空路 トキエア就航で 2,000 メートル化への機運を高めるとしてきたが、県の姿勢はどうか。また、行政と足並みを揃えて取り組んでいる佐渡新航空路開設促進協議会は、「1 佐渡空港拡張整備計画の推進、2 情報収集及び要望活動、3 島内外世論の喚起、4 佐渡空港周辺整備等基金の運用、5 佐渡一新潟航空路線の再開支援」を事業として挙げているが、本年度はどのような取組が期待されるのか 3 新型コロナウイルス感染症のこれまでの状況 (1) これまでの佐渡市全体の感染者数及び市職員における感染者状況 (2) 新型コロナ感染が原因での死亡者や重篤な市民はいなかったのか 4 地域医療について (1) 今定例会で設置する地域医療基金（条例）の具体的な使途内容は何か (2) 佐渡の医療介護等の人材不足は、職種別に一体何人不足しているのか 5 外部人材活用の在り方について (1) 現在の外部人材活用の状況と目的及び今後の方向性は (2) 地方公務員法が適用されず営利企業の従事の禁止もなく、採用に当たっても競争試験又は選考もなく任用され、守秘義務が適用されない外部人材が多いと思われる。行政情報には市民の個人情報等や業務委託や入札案件等の重要な情報は行政への信頼に関わるものであるが、どのように守られるのか。また、国の「情報システム調達改革検討会」等の対策は十分取られているのか 6 豪雨災害等への備えについて (1) 頻発している豪雨に対する各地域の対応状況 (2) 災害指定にならなくても、地域によっては、ゲリラ豪雨による農地などの被害が起きているのではないか。その場合における支援策はどのようなになっているのか 7 学校統合計画について 小中学校再編統合計画における「令和4年度～令和8年度（前期）学校間連携」は、統廃合を行なわないということの理解でいいのか	中 川 直 美